いちばん身近な文芸誌

民主文学 6月号より 新連載スタート

毎月8日発売

編集・発売 日本民主主義文学会
TEL 03-5940-6335 FAX 03-5940-6339
〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-29-9 サンレックス202号

不安の時代に立ち向かう教師を描く

魅力の新連載小説◇◇佐田暢子◇◇

冬の架け橋

佐田 暢子
（さた・のぶこ）

・1950年福岡県生まれ。
・第一回『民主文学』新人賞受賞
・小学校に勤務、退職
・主な作品「朝まだき青の流れに」「半夏生」「雪の一ト日」など

筆者のことば

学校は、子どもにとっても親や教師にとっても、明るく楽しいところであってほしいと思う。子どもを育てるためだけに学校は作られ、大人が知恵を絞り、国の税金が使われる。教育は国家の一大事業なのだ。しかし、教育という営みは、良心的な人が頑張れば必ず好ましい結果が出るというほど単純ではない。どんな場面でどう頑張るか、その全き個別性のなかに物語がある。大人の生きにくい時代が子どもにとって生きやすいはずはない。不安の時代を生きる子どもと大人が、手探りでどんな物語をつくっていくのか、登場人物とともに考えてみたい。

■この機会に、『民主文学』をぜひご購読ください■

雨の国会議事堂前、身動きできないほどの群集に交じって、六人の教師が戦争法反対行動に参加していた。彼らは、同じ大学の教育学部に学び、文学サークル「ほしび」で語りあった仲間だった。文学の心で教育の仕事に取り組もうと、それぞれの教育現場に飛び込み、管理強化と画一化が進むなかで、なにが教育的であるかを求めていく。また、彼らは家族の一員として親や子どもの問題にも直面する。揺れながら道を探し続ける六人の人生を、オムニバス形式で描く物語。ご期待ください。

■■ 文学の心で教育に取り組む決意をした六人が、二十年を経て再会する ■■

★左の用紙を切り取って、FAXあるいは郵送でお申込ください。雑誌は直接自宅にお送りします。

購読申込書

民主文学購読費
月額 970円送料込み

月　日

いずれかに○印をつけてください

六月号より定期購読する

「冬の架け橋」連載中のみ購読する

日本民主主義文学会 FAX番号03（5940）6339

お名前

ご住所〒　－

電話番号